

熊本県建築士会 女性部会

会員数 110名 1991年設立

女性部会総会風景



毎年5月に開催される総会には、女性会員数110名の中20名前後の女性会員の参加がある。モットーは、いつでも だれでも 気軽に参加できる建築士会女性部会です。

今年の総会は、ヘルパーさん不要との連絡があり、その言葉を信じて準備していなかった。結果、群れる子どもたちは、相乗効果をもたらし、走る、声を出す・・・大変だった。

こんなところに子どもを連れてくるなんて・・・とは言えずやはり準備しなかった執行部が悪いのです。

子育て中の建築士支援隊

建築士会女性部会でした

総会に合わせ講演会も開催します。せっかく一緒に集まる機会を、研鑽の場にといいことで、多方面の方にお越しいただき、お話をさせていただきます。



前部会長

コレクティブハウスのお話



今年総会に出席した子どもたち

いぐさ農家の岡さん



研究発表してくれた持田会員



住まいづくり相談会風景



シックハウス

相談会開催での一番の収穫は、熊本市の保健所とのコラボで、シックハウス勉強会を立ち上げたことです。保健士、建築士のそれぞれの立場で意見を出し合い、当時社会問題となっていたシックハウス問題に取り組みました。お互いとても勉強になりました。「家づくりとシックハウス症候群」をテーマに保健士、建築士からのアドバイスを21のリーフレットにまとめ作成し、共同で相談会も開催しました。



世紀末の賑々しい中1999年6月24日
第4土曜日の午後梅雨の大雨の中スタート

毎月1回の定例の相談会として第4土曜日の午後3時から4時までの3時間だけの無料相談会です。場所は一般の相談者が足を運びやすいのでは、ということで熊本の郷土のデパート鶴屋百貨店でちょっとしたスペースを借り、開催しています。



いつでも だれでも 気軽に・・・
時には住宅展示場やイベント会場での開催
建築士の日記念事業の一環として
いつもの相談会を拡大し
青年部会と共に無料相談会を開催しました。



住まいづくり相談会によせて

最初の頃は、新築やリフォームに関する漠然とした相談が多かったように思います。ところが最近では、新築・リフォームの計画があり、図面も出来上がり、それでも不安を感じて図面持参でご相談にいらっしゃる方が多くなりました。

情報があふれ、断片的な知識と理想の家づくりといろいろな制約とで、混乱してしまい、先に進めないというような状況です。

その他新築時やマンションの購入後のクレームに関することも多くなってきています。

県建築士会女性部会員の協力で10年以上続けることができました。長年住まいづくり相談会を開催して感じたことは、地域の建築士と市民（クライアント）との交流の場を設け、お互いに家づくりについて、考え勉強していく必要があるのではないかということです。今後、この相談会が、そのような場になることを期待して”継続は力なりとがんばっていきます。



私の建築スタイル



子供を**おんぶ**して歩く姿、それがここ5年の私のスタイルです。建築士になって、10年余りですが、結婚してからあっという間に3人の母になりました。自営業なので出来たことですが、「産休」「復帰」を繰り返し、その間に建築基準法はめまぐるしく変わりました・・・何とか周囲の協力もあり、講習会だけは参加して今にいたります。1人目の時から「復帰」と、ありがたいことに仕事の依頼があり、常におんぶで打合せや現場に行っています。（もちろん、危険作業の時は行きませんよ）職人さんが、抱っこしてくれている間に足場に登ったり、施主が抱っこしてくれていたたり。おかげで、すっかり長男次男は現場好き、重機を見て「かっこいい〜」材料の砂山で砂遊びをしています。現場の方々には、「なんね**英才教育**ね」

とか言われたり。私の周りのプチ子育て支援に感謝です。**2年前**から、事務所のスペースを利用して「親子サロン」なるものを始めました。子育てサークルとは違い、保護者が子連れで自由に遊べる。遊べる場なので、私のママ友・親子サロンのチラシを見た人が主に来て下さいますが、阿蘇という土地柄ふらっと寄って来たという観光客の御一家もたまに来て下さいます。「子供が長距離移動で飽きてしまって、こういうところがあると助かります。」と言われると、阿蘇のイメージアップにも役立っているかな？昨年12月に県の助成を受けて『親と子のHAPPYDAY』と銘打って、子育てサークル学習会を催しました。天候にも恵まれ200人余りの来場者がありました。スタッフになってくれたママ友13名の協力に本当に感謝しました。ところが、そのママ友から「自分でもこんなことができるんだと自信になった」「変化のない生活に変化があって、楽しかった」と逆に感謝されてしまいました。少しのぼせて、また別のイベントができればいいな・・・なんて思っています。話は建築からそれてしまいましたが、子供が生まれて**気づくこと**が多くあります。段差のこと・トイレのこと・コンセントのこと。なんとなく設計していたと言えは語弊がありますが、今の日常は不便がいっぱい！。その体験をこれからの設計に生かしたいです。

最後に、3人目の子供はなんと女の子、今までは男の子だったから「現場」でも喜んだのですが、いささか迷惑してるかも・・・

熊本県建築士会女性部会のモットー「いつでも、だれでも、気軽に」を実践しているような私の建築スタイルです。

熊本県建築士会 光原